

2026年4月15日

輸送動向について（2026年3月分）

1. 輸送概況

中東情勢の緊迫化を受けた原油の価格変動とそれに伴う先行き不安から、国内景気は弱含みで推移した。当社においては、食料工業品や農産品・青果物等の減送が続き、本年の輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回ったほか、食料工業品は、一部顧客における出荷停滞等の影響により清涼飲料水やビールを中心に減送となった。また、農産品・青果物は、天候不順に伴う生育不良等の影響により北海道地区の玉葱及び馬鈴薯等が前年を下回った。コンテナ全体では前年比96.5%となった。

車扱は、石油が、全国的に気温が高く推移したことにより灯油や重油等の燃料需要が伸びず、前年を下回った。車扱全体では前年比96.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比96.4%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,738	1,800	96.5%	18,918	18,617	101.6%
車 扱	756	786	96.1%	8,368	8,530	98.1%
合 計	2,494	2,587	96.4%	27,287	27,148	100.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	121	137	-15	88.5%
	化学工業品	143	144	-1	98.7%
	化学薬品	95	99	-4	95.6%
	食料工業品	261	281	-19	93.0%
	紙・パルプ	201	204	-2	98.5%
	他工業品	114	106	7	107.3%
	積合せ貨物	295	292	2	100.9%
	自動車部品	76	67	9	113.8%
	家電・情報機器	31	32	-0	98.6%
	エコ関連物資	50	72	-22	69.2%
その他	346	360	-14	96.0%	
	コンテナ計	1,738	1,800	-62	96.5%
車 扱	石 油	529	541	-11	97.8%
	セメント・石灰石	128	138	-10	92.5%
	車 両	73	76	-2	96.5%
	そ の 他	24	30	-5	80.7%
	車 扱 計	756	786	-30	96.1%
合 計		2,494	2,587	-92	96.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)